

令和2年度事業報告

<基本方針>

次のことを重点に取組みを進めている。

- ・ 釧路根室圏地域（以下、地域と記載）における総合的な産業支援施策を展開し、地場産業の高度化、新産業の創出、販路拡大を図る。
- ・ 地域の基幹産業である一次産業や食関連産業が抱える課題やその一つである鮮度保持技術や食関連機械技術の高度化の取組みや生産性向上が期待される活用技術（IoT、ロボティクス等）を重点課題とし、技術開発や事業化に向けた取組みを積極的に進める。
- ・ ものづくりに関する技術力と、地域内外のネットワークの強化を行い、地域を支える産業人材の育成とあわせて、ものづくり力向上に向けた取組みを進める。

<公益目的事業>

公1 地域産業技術振興事業

「釧路工業技術センター」の施設を活用しながら、釧路根室地域のものづくり企業等の技術力高度化の推進を図るため、下記事業を行った。

1. 試験研究

地域ニーズに対応した試験研究を行い、成果普及による新事業創出等の推進を行った。

(1) 食分野（酪農装置、食品加工装置等）：3件

- ① 食品加工機械の切断刃物に関する研究（食品）
- ② 業務用包丁刃先角測定器の開発（食品）
- ③ 牡蠣の簡易選別システムの検討（水産）

(2) 環境エネルギー分野（自然エネルギー活用技術等）：1件

- ① エネルギー（再生可能、水素関連）に関する調査研究（地域での活用）

(3) その他：3件

- ① 地域木材の有効活用検討
- ② CAD及びSCANによる3Dデータの活用検討
- ③ 工場の生産工程見える化技術に係る調査研究

2. 技術指導

技術課題解決を図るための技術相談、企業訪問による地域の抱える課題の掘り起こし等を行った。

(1) 技術相談・支援件数：延べ1,039件

	R2	H31 (R1)	H30	H29	H28
技術相談・支援	1,039	1,002	840	979	1,267

- ① 相談区分別（技術分野別）：機械金属401件、木工193件、情報通信62件、電気電子13件、化学32件、塗装5件、エネルギー28件、食品21件、CAD/CAM113件、その他（技術）171件

- ② 相談区分別（産業分野別）：環境エネルギー36件、建築135件、農業51件、水産147件、食品87件、福祉0件、林業2件、情報通信業47件、学術・技術業6件、その他（産業）528件

- ③業 種 別：製造473件、建設22件、卸売・小売60件、サービス136件、木製品70件、農林水産28件、情報通信機器28件、学術研究20件、行政91件、その他（業種）111件
- ④地 域 別：釧路市736件、釧路町50件、厚岸町23件、浜中町34件、標茶町1件、弟子屈町8件、鶴居村12件、白糠町14件、根室市51件、別海町19件、中標津町34件、標津町3件、羅臼町13件、その他41件、

(2) 企業訪問活動による情報収集

- ①企業ニーズ把握等のため、延べ875件訪問

(3) その他

- ①知的財産の総合窓口である釧路サテライトの運営支援を実施した。(利用実績：11件)
- ②釧路工業高校、釧路工業高等専門学校(専攻科)のインターンシップ受け入れを実施した。
- ③JICA草の根技術協力事業(地域経済活性化特別枠)への協力
「水産都市ダナンをけん引する人材育成プロジェクト」
- ④知的財産権個別相談会の開催(全4回)(利用者実績：7件)

3. 情報提供

地域企業が必要とする最新技術情報の収集を行い、広く地域へ情報提供を行った。

(1) 産業技術に関する資料等の情報の収集、整備と情報誌の発行

各種展示会、公設試の成果発表会、各種研究会へ参加し情報収集した。(7先)

- ① 各種研究会、セミナー等(7先)

(2) 当財団の「研究開発」「事業化支援」等の取り組みや事業成果を広く普及することを目的に、成果報告会を開催した。

開催日：令和2年7月7日

内 容：「衛生管理・鮮度保持技術の海外展開の取り組み、

生産性向上の取り組みをサポートする事業の紹介」 原田 隆行

「3Dデータを活用した支援事例紹介」 藤井 優

「マイクロ波による食品異物混入の検出装置及び

異物除去装置の研究開発」 日戸 光輝

「地域材を活用した商品開発」 瀧本 文一

参加者：36名(会場参加29名、オンライン参加7名)

場 所：釧路工業技術センター2階会議室

(3) 情報誌を2回発行し、賛助会員及び関係機関に配布した。

(4) ホームページにて、情報を随時発信した。

4. 人材育成事業

技術力向上や企業経営に関する講習会等の実施を行った。

(1) 自主研修事業(関連機関等との共催、後援等で実施した。)(2件)

- ①テレワーク業務・働き方改革推進 事業セミナー(第1回)
- ②中小企業IT活用セミナー

5. 産学官連携及び人的ネットワーク構築

新事業創出等に有効な連携等の構築推進を行った。

(1) 産学共同研究の促進（1件）

①牡蠣の簡易選別システムの検討

(2) 異業種交流（研究会・協議会等）団体等への支援（18先）

①センターが事務局を担当

- ア. 釧路ITクラスター推進協会に参画
- イ. 釧路市IoT推進ラボに参画
- ウ. 釧路自然エネルギー等活用研究会に参画
- エ. 釧路根室地域鮮度保持技術開発拠点プロジェクトに参画

②産業クラスター創造研究会等

- ア. 釧路産業クラスター創造研究会事業との連携
- イ. 根室産業クラスター創造研究会との連携

③地域の取り組み（自治体等）

- ア. 釧路森林資源活用円卓会議に参加（釧路市主催）
- イ. くしろ地域エネルギー地産地消ネットワークに参加（釧路総合振興局主催）
- ウ. NoMap 釧路・根室に参加
- エ. 釧路根室事業承継サポートネットワーク会議へ参加（北海道中小企業総合支援センター）

④地域の取り組み（民間等）

- ア. 釧路鉄工協会青年部に参加
- イ. 釧路市異業種交流プラザに参加（令和2年7月解散）
- ウ. 釧路食糧基地構想協議会に参加
- エ. 地域中小企業支援ネットワーク会議に参加（釧路商工会議所主催）
- オ. 釧路地域創業支援ネットワークに参加（釧路商工会議所主催）
- カ. なかしべつ循環型社会づくり推進協議会に参加
- キ. 水素エネルギー研究会に参画
- ク. 商品企画研究会（木づなプロジェクト）に参加

(3) 試験研究機関、産業支援機関のネットワーク構築：21先

①地域のネットワーク

- ア. 道総研釧路水産試験場と情報交換を実施
- イ. 釧路市水産加工振興センターと情報交換を実施
- ウ. 標津町ふれあい加工体験センターと情報交換を実施

②全道のネットワーク

- ア. 北のモノづくりネットワーク会議へ参加（道総研工業試験場主催）
- イ. 産業技術連携推進会議北海道地域部会へ参加（産業技術総合研究所北海道センター）
- ウ. 水産機械研究会へ参加（産技連北海道地域部会関連）
- エ. 北海道技術振興連絡協議会へ参加（ノーステック財団主催）
- オ. 北海道インキュベーションマネージャー連携促進会へ参加
- カ. 北海道の水産加工振興に係わる連絡会議へ参加（道総研中央水産試験場主催）
- キ. 北海道ITコーディネータ協議会へ参加
- ク. 北海道地域産業技術連携推進会議へ参加（北海道経済産業局主催）
- ケ. ものづくり技術支援ネットワーク会議へ参加（北海道経済部主催）

③その他のネットワーク

ア. 「標準化活用支援パートナーシップ制度」パートナー機関として登録
(日本規格協会主催)

④各種委員等の委嘱：8件

- ア. 釧路産炭地域総合発展機構 審査委員会委員
- イ. 釧路高専地域振興協力会 副幹事長
- ウ. 釧路信金地域貢献助成制度(新技術) 審査員
- エ. 釧路産業クラスター創造研究会 副会長
- オ. 釧路森林資源活用円卓会議 副座長
- カ. 釧路市地球温暖化対策地域推進計画検討委員会委員(釧路市)
- キ. 北海道インキュベーションマネージャー連携促進会運営委員
- ク. NoMap 釧路・根室 実行委員会 実行委員長(大地みらい信金他)

(4) 隣接地域との地域間連携の構築

- ・北海道インキュベーションマネージャー連携促進会へ参加し、相互の取り組みの情報交換を行い、北見、十勝地区の産業支援機関等と連携を深めた。

6. 検査分析

企業からの依頼に基づき、分析・検査・計測等を行った。

(1) 依頼試験件数：23件

	R 2	H 3 1	H 3 0	H 2 9	H 2 8
依頼試験	2 3	1 3 3	1 6 3	2 4 9	8 3

主な依頼試験：材料圧縮試験(2件)、材料引張、曲げ試験(9件) 硬さ試験(2件)

7. 「釧路工業技術センター」の管理運営

施設の管理・運営、機器等の貸出等を行った。

(1) 機械機器使用件数：721件/76日間/1,369時間

	R 2	H 3 1	H 3 0	H 2 9	H 2 8
機械機器使用	7 2 1	6 6 8	6 1 0	5 8 4	6 4 9

主な機械機器使用：レーザー彫刻機254件、CAD・CAMシステム151件、炭酸ガスレーザー加工機81件、旋盤45件、3Dプリンター31件、交流アーク溶接機25件、5軸制御NCルーター19件、塩水噴霧試験機17件、全自動パネルソー13件

(2) 会議室等利用状況：317件、3,482名

	R 2	H 3 1	H 3 0	H 2 9	H 2 8
会議室等	3,482	7,009	7,623	6,586	7,058

(3) センターの視察状況(4件、合計24名)

公2 地域産業支援事業

地域企業のニーズに基づく新製品開発、事業化及び販路開拓や中小企業経営を支援するため、下記事業を行った。

1. 新製品開発・事業化支援事業

新製品の開発や事業化への取組みに対し、技術的サポート等を実施。

(1) 企業の研究開発・事業化支援：38件

①食分野（酪農装置、食品加工装置等）：20件

- ア. 海水電解殺菌装置の用途開発とその普及（水産等）
- イ. 自動ウニ専用殻割り機の開発支援（食品）
- ウ. 海外販路を視野に入れた衛生管理鮮度保持技術の開発と事業化支援（水産等）
- エ. 昆布漁場における雑海藻駆除機械の開発（水産）
- オ. カキ選別機の事前評価支援（水産等）
- カ. 水産物成長促進装置開発支援（水産）
- キ. 食品製造現場の改善による生産性の向上（水産）
- ク. 船舶関連メンテナンス技術の改善を目指した取り組みに関する支援（水産）
- ケ. ウニの高品質化を目的とした昆布の促成栽培の研究（水産）
- コ. 海上ブイ「GPS標識」の開発（水産）
- サ. 洗浄装置の開発（水産・酪農）
- シ. 高鮮度保持のための装置器具開発支援（水産）
- ス. こねぎ生産作業効率化の支援（食品）
- セ. 閉鎖循環方式によるウニ養殖の研究（水産）
- ソ. とろろ昆布加工の効率化支援（食品）
- タ. 食品の自動運搬システム開発支援（食品）
- チ. 魚の胃袋洗浄器具の開発支援（水産）
- ツ. 接ぎ木作業の省力化検討（農業）
- テ. 食品製造業の生産ラインの工程改善の検討（食品）
- ト. 瓶の蓋締め作業の改善検討支援（食品）

②環境エネルギー分野（自然エネルギー活用技術等）：8件

- ア. CO₂ミルクヒートポンプシステムの開発、及び事業化支援（エネルギー）
- イ. 省エネルギー診断の事業化支援（エネルギー）
- ウ. しいたけ廃菌床を活用したバイオマスボイラーの事業化支援（環境）
- エ. 汚泥再利用の検討（環境）
- オ. 宿泊施設の省エネルギー対策（エネルギー）
- カ. バイオガスプラントの地元調達の検討（エネルギー）
- キ. 廃タイヤストーブの開発検討（環境・エネルギー）
- ク. 省エネ関連機器の開発及び販路開拓（環境・エネルギー）

③その他：10件

- ア. 非接触三次元デジタイザによる製品開発支援
- イ. 釧路市IoT推進ラボの事業支援
- ウ. ラジコン部品の新商品開発支援
- エ. 地域木材を活用した商品開発支援
- オ. 洗浄用薬液開発の支援（化学）
- カ. NC加工技術を活用した新商品の開発支援
- キ. オリジナル商品（家具）の開発支援
- ク. アイヌ文様を活用した商品開発支援
- ケ. 金型の修正に係る委託先調査検討
- コ. 飛沫防止パーティションの開発支援

- (2) 先端技術の導入支援等による地域企業生産性向上事業（北海道補助事業、釧路市委託事業）
生産現場における生産性向上を目指した取り組みについて、ユーザー側、サプライヤー側双方の立場にあった、企業ニーズや課題に対応した技術力の向上や人材の育成を関係各機関と

の連携体制により支援を行った。

①技術力生産性向上マネージメント事業

ア. 技術力生産性向上マネージャーによるニーズ調査等

・地域の食関連企業などの生産性向上ニーズや課題、ものづくり、情報通信関連企業などのサプライヤー側の技術力向上・ユーザーとしての生産性向上ニーズや課題の把握、課題解決に向けたマネージメントを行った。

(i) 技術力生産性向上マネージャーの配置

次の技術力生産性向上マネージャーを配置し、企業のニーズ、課題の把握、助言、先進情報の収集及び事業化案件の発掘等を行った。

(ii) 企業のニーズ、課題の把握・助言等

- ・企業訪問件数：223件
- ・相談対応件数：123件

(iii) 課題解決等のために企業が必要とする先進技術情報等の収集活動

- ・各種展示会等：1先
- ・各種研究会、セミナー等：5先

(iv) 技術開発実践プロジェクトの実施：5件

- 魚函洗浄工程の改善の検討
- 生産性向上や発注側が求めるQCD（品質・コスト・納期）への対応力強化を図る取組
- 酒造工程における検温作業の改善検討
- 鮮魚の高鮮度保持技術における新たな工程「胃洗浄」器具の開発検討
- 果菜類の接ぎ木作業の省力化検討

(v) その他の活動

i) 生産性向上のための人材育成事業

- ・『生産管理自己診断システム』を活用した生産性向上のためのワークショップ（釧路と中標津2会場で開催）

イ. 専門家等招聘による課題解決：2件延べ7名

・地域企業に対する先端技術等の専門家の派遣または招聘による生産性の向上等に関する課題解決に向けた支援等

(i) 技術開発実践プロジェクト：生産性向上や発注側が求めるQCD（品質・コスト・納期）への対応力強化を図る取組

札幌の工程改善、原価管理を専門とするコンサルの堀口 敬 氏を招聘し、QCDに関する指導を受けた。

(ii) 生産性向上のための人材育成事業

（一社）北海道機械工業会、大地みらい信金、道総研ものづくり支援センターと連携して、生産性向上への取り組みを推進するため、専門家を招聘してワークショップを実施した。（リモートによる講義）

(3) 相談情報ネットワーク強化事業

企業、団体からの要望により、技術力強化を目的に専門家を招聘した研修会等を開催した。

① セミナー講師派遣

- ア. テーマ：IoT実践講座（人工知能・機械学習編）
- イ. テーマ：溶接研修会
- ウ. テーマ：CAM講習会

エ. テーマ：レーザー彫刻機講習会

(4) 「飛沫感染防止用品開発事業」(釧路市委託事業)

コロナ対策製品の中で特に飛沫感染防止パーティションの検討を行った。

2. 開発商品等のPR及び販路拡大

地域の工業技術力を地域内外に広くPRし、販路を拡大することを目的に、地域企業とともに展示会、商談会に参加している。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、展示会出展、商談会参加等は無かったが、商品化検討及び技術協力を行った、「飛沫防止パーティション」、「木づなプロジェクト」、「アイヌ作品」、「魚の胃袋洗浄器具 (Re:verser)」、「JICAベトナム事業 (衛生管理・鮮度保持技術)」関連の商品・取り組みのマスコミ取材対応の支援を行った。

3. 中小企業経営支援事業

地域経済活力向上を目指し、中小企業向けの経営相談等を行った。

(1) 産業支援コーディネーターの設置

地域企業の新技術、新製品開発等の取組に対して、マーケティング、企業経営等の分野から事業化支援を行った。

企業訪問：709件

相談対応：7件

<収益事業>

収1 受託事業

行政機関・企業等からの受託により、技術力高度化・新技術創出のための研究開発、産業活性化、地域企業経営基盤強化等に資する事業を行った。

1. 行政機関・企業等からの受託試験研究調査事業

釧路工業技術センターの施設や職員の知識・技術を活用して、企業等から試験研究調査業務を受託することにより、依頼元企業等の技術の高度化を図った。

(1) 企業からの受託試験研究調査事業：3件